

知るは楽しみなり

教育支援アドバイザー 高坂 均

新型コロナウイルス感染症が早く収束し自粛生活から解放され、本来の学校生活が送れるようになることを願う毎日です。遠出を控えているご家庭が多いかと思われます。こんな時期には、家族で近くに出かけ、新たな視点で色々なものを見つめ直しては如何でしょうか。そこでお勧めするのが最寄りの神社です。

「雨ニモ負ケズ」で有名な宮沢賢治の教え方に有名なエピソードがあります。農作物の肥料として窒素が大切であるということを教えるのに、しめ縄を提示し、しめ縄の本体は雲、垂れ下がった藁は雨、ギザギザの紙は稲妻であり、雨と雷は豊作のために不可欠な要素である事を説明しました。その後、雷の落ちるところに出かけ実地体験をさせたそうです。教室の授業だけではなく、子どもの興味や具体的な体験を通して授業を進めたそうです。体験学習の大切さを改めて実感させられるお話です。

学校だけでなく地域にある資源を通して、家族で楽しく学習し、地元を再認識することも大切かと思えます。新たなものへの興味・関心が深まり、多方面への知識欲が高まること間違いのないと思います。「知るは楽しみなり」といいます。



1学期の「ぐんぐん」～活動報告

地域支援センター「ぐんぐん」では、福島県「切れ目のない支援体制整備事業」を受け、特別な支援を必要とする子どもたちに対して、小学校入学前から学校卒業後まで切れ目なく必要な支援が行われるよう、支援体制の整備と充実を図るために活動しています。今年度は新型コロナウイルス感染症の流行を受けて、しばらく活動を見合わせていましたが、ようやく7月から関係機関との連携に向けて動き出しました。



1. 関係機関訪問

特別な支援を必要とする子どもたちに対する支援体制の充実や、本校生の地域生活に必要な支援体制の充実を図るため、行政機関や医療機関、保健センター、相談支援事業所等を訪問して、地域の支援体制の整備や構築に向けて連携づくりに取り組んでいます。

2. 相談支援

地域の小中学校等で支援が必要な場合は、教育委員会等を通して支援の依頼が入ります。今年度は、7月に小学校2校から依頼を受け、支援のあり方等を一緒に考えました。

3. 「キラキラ教室」は2学期から

「キラキラ教室」は、小学校入学前のお子さんや保護者を対象に、様々な情報や遊びの場の提供を行う教室です。1学期間は実施を見合わせましたが、現在、8月26日(水)「心も身体もリラックス」の開催に向けて準備しています。お近くに、お子さんの育ちについてお悩みの方がいらっしゃいましたら、ぜひ、ご紹介ください。

パラリンピックを応援しよう！

～車椅子ラグビー編～

車いす同士の衝突が認められた唯一のスポーツです。2000年シドニーパラリンピックからパラリンピックの公式競技となりました。バスケットボールのコートと同じ広さのコートで競技をします。ボールを持ってトライラインを通過することで1点が加算されます。試合時間内に多く得点を挙げた方のチームが勝利となります。主に障がいの軽い選手がオフENSEの役割を、障がいの重い選手がディフェンスの役割をします。

車いすは、ハードな競技に耐え得る専用の車いすを使用します。車いすには、相手の車いすを止めるためのバンパーや、相手の車いすから逃れるためのウィングが取り付けられています。日本チームはリオパラリンピックで銅メダルを獲得しています。

